# 指定管理者制度活用事業 評価シート(養護老人ホーム)

1. 基本事項

施設名称	川崎市恵楽園	評価対象年度	令和4年度
事業者名	<ul><li>事業者名 社会福祉法人 川崎聖風福祉会</li><li>代表者名 理事長 野神 昭雄</li><li>住所 川崎市川崎区池上新町3-1-8</li></ul>	評価者	高齢者事業推進課長
指定期間	令和3年4月1日~令和7年3月31日	所管課	健康福祉局長寿社会部高齢者事業推進課

2	車業宝繕
	事未夫相

111/02/911/19	1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1. 1	77 L WK	WAS A DESCRIPTION OF A SHARE CARL
2. 事業実績			
	C North Land and Latter Land		
	①養護老人ホーム事業(入所定員 140人)		
	在籍者数110人(令和5年3月31日現在:入院不在者を含む) 4月 5月 6月 7	月 8月 9月	
	月末在籍者数 98 97 98	103 101 102	
	10月 11月 12月 1		
	月末在籍者数 101 101 103	102 103 110	
	②通所介護事業(通所定員 30人/日)		
	_ 年間延べ利用者数 5,816人		
利用実績	4月   5月   6月   7万     延べ利用者数   383   403   440	月 8月 9月 525 357 505	
	10月 11月 12月 12		
	延べ利用者数 540 572 503	502 514 572	
	③居宅介護支援事業		
	給付管理者数(令和5年3月分)		
	介護度 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介	ト護5 その他 合計	
	管理者数 45 37 20 7	5 0 114	
	① 芝恭 北 1 中. ) 古 學.		
	①養護老人ホーム事業 (収入)	(支出)	(単位:円)
	介護料収入 260,133,274	人件費	136,572,829
	利用者等利用料収入 0	事務費+雑支出	44,532,757
	その他の事業収入 1,207,345	事業費	87,904,050
	合計 261,340,619	合計 (収支差額)	269,009,636 <b>A</b> 7,669,017
	②通所介護事業		<b>A</b> 1,009,011
	(収入) 介護料収入 41,747,985	(支出) 人件費	35,100,468
	利用者等利用料収入 6,280,140	事務費+雑支出	5,459,029
	その他の事業収入 220,080	事業費	7,102,912
	合計 48,248,205	合計	47,662,409
.l-, -l-, -l-, /-t-		(収支差額)	585,796
収支実績	③居宅介護支援事業 (収入)	(支出)	
	介護料収入 20,606,895	人件費	15,530,361
	利用者等利用料収入 0	事務費+雑支出	559,156
	その他の事業収入 0	事業費	0
	合計 20,606,895	合計	16,089,517
		(収支差額)	4,517,378
	(収入)	(支出)	
	介護料収入 322,488,154	人件費	187,203,658
	利用者等利用料収入 6,280,140 その他の事業収入 1,427,425	事務費事業費	50,550,942 95,006,962
	合計 330,195,719	合計	332,761,562
	11.1	(収支差額)	<b>▲</b> 2,565,843
	○地域包括支援センターや福祉事務所等に対し、養護老人ホームの意義や役割についた。		.身生活に不安のある高齢者
サービス向上の	が施設を効果的に利用できるよう、真に必要な方へのサービスが行き届くよう体制整備 ○内部研修、外部研修など学習の機会を確保し、参加促進を図るとともに、新型コロコ		修については緑画に、聯員が
取組	個別で受けられるようにし、職員のスキルアップを図り、手厚い支援体制の構築に努め	りている。	
	○利用者の心身機能の維持・向上への取組みでもあるクラブ活動や行事については ものから再開した。	、体操やお楽しみ会など、新型コロナウイル	レス感染の予防対策がとれる
	でなった。		

### 3. 評価

実

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
		利用者のニーズに合わせたサービス提供が行われているか			
	質の高いサービスの提供	利用者等への情報提供等は十分に行われているか	10	4	8
		地域交流(行事の開催やボランティアの受入等)を積極的に行っているか			
		利用者の健康管理は適切に行われているか	10		0
適	健康管理	感染症への対策は適切に行われているか	10	4	0
正	(評価の理由)				

<質の高いサービスの提供>

- ・現在の利用者中、5割以上が要介護状態である状況を踏まえ、必要な介護サービスが適切に受けられるよう、併設しているデイサービスセンター及び居宅介護支援事業所と連携を図り、必要な支援が受けられる体制を整えている。
  - ・川崎市の健幸福寿プロジェクトに参加し、要介護度の改善に努める計画を立て、支援を実施している。
- ・介護が必要になった利用者においても、デイサービスを利用することにより生活機能の改善及び保清を行い、自立した生活を維持するための支援を実施している。

#### <健康管理>

・新型コロナウイルスへの感染予防を主眼とした対策として職員の出勤時の検温チェック、館内の定期消毒など一般的な対策を実施している。また、利用者への新型コロナウイルスワクチン接種は、嘱託医と連携をとりながら適宜実施した。

- ・利用者に新型コロナウイルスの感染者が発生した際は、高津区衛生課と連絡を取り合いながら、他利用者の経過観察を実施した。
- ・利用者を対象としたインフルエンザ対策としては、予防接種を10月に複数回に分けて実施した。また、職員に対してもインフルエンザの予防接種を受けた場合は一部費用を法人が補助し、組織として感染予防に努めた。
- ・食中毒等への予防として厨房内の食品衛生管理については「大量調理施設衛生管理マニュアル」に従い、食品衛生管理を実施している。

		計画に基づく適正な支出が行われているか	5	3	
	効率的・効果的な支出	支出に見合う効果は得られているか			3
		効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組は為されたか			
	UT 3 O The UT	計画通りの収入が得られているか	5	3	9
	収入の確保	収入増加のための具体的な取組が為されているか			3
収支	適切な金銭管理・会計手	収入と預かり金等を区別し、適切に管理を行っているか	- 5	3	9
計	続	事業収支に関して適正な会計処理が為されているか			3

### (評価の理由)

<効果的・効率的な支出>

・電力会社と適時適切に打ち合わせを行い、数値により現状把握、分析を行うことで、ピーク電力を抑える対策をしており、節電の取組みが見られる。

### <収入の確保>

- ・手厚い職員体制を整えることで、中重度者ケア体制加算を算定し、手厚いサービス体制の整備とともに、加算取得による収入増加を図っている。
- ・地域包括支援センターや福祉事務所等に対し、養護老人ホームの意義や役割について深く理解を求めるとともに、虐待や単身生活に不安のある高齢者が施設を効果的に利用できるよう、真に必要な方へのサービスが行き届くよう施設の周知に努めた。
- ・モデルルームを設置し丁寧な見学対応を行い、見学時に「住まい」としてのイメージを持ってもらえるよう努めている。

# <適切な金銭管理・会計手続>

- |〜適907年金銭官理・云訂チ続> |・預り金について、金庫や鍵付きの書庫にて管理を行ったうえで、預り金報告会を年3回開催し、利用者本人と確認を行った。
- 法人本部、及び税理士によるチェック体制が整備されている。

	適切なサービスの提供	提供すべきサービスが仕様書や実施計画等に基づいて適切に提供されたか	10	4	8
		サービスの利用促進への具体的な取組が為されているか			
		サービス向上のための取り組みがなされているか			
	業務改善によるサービス 向上	業務改善が必要な場合に、現状分析、課題把握、改善策の検討と実施が行われているか	10	4	8
		業務改善の取組によって具体的な効果があらわれたか			
	利用者ニーズの把握に努め、それを事業や管理に反映させる取組が為されているか 利用者の意見・要望への 対応 意見・要望の収集方法は適切だったか(十分な意見・要望を集めることができたか)				
サービスナ		10	4	8	
		利用者からの苦情や意見に対して、迅速かつ適切に対応しているか			

### (評価の理由)

務

<適切なサービスの提供>

- ・地域包括支援センターや福祉事務所等に対し、養護老人ホームの意義や役割について深く理解を求めるとともに、虐待や単身生活に不安のある高齢者が施設を効果的に利用できるよう、真に必要な方へのサービスが行き届くよう体制整備に努めた。
- ・現在の利用者中、5割以上が要介護状態である状況を踏まえ、必要な介護サービスが適切に受けられるよう、併設しているデイサービスセンター及び居宅介護支援 事業所と連携を図り、必要な支援が受けられる体制を整えている。
- ・川崎市の健幸福寿プロジェクトに参加し、要介護度の改善に努める計画を立て、支援を実施している。

### <業務改善によるサービス向上>

・職員会議にて、前年度に実施した入所者の生活満足度調査の結果を基に、現状分析・課題把握・改善策検討を実施した。特に、施設内に8部会を設け、それぞれが会議を開催し、現状分析、課題抽出、改善検討、部会発信を行った。

- ・上記部会のうち、事例検討部会により、ケースについて他職種による検討が定期的に行えるようになった。
- ・上記の取組の成果として、研修・勉強会を動画で撮り、パソコン上でいつでも受けられるようになったことから、これまで業務等により参加できなかった職員も受講できるようになり、職員のスキルアップに繋がった。

### <利用者の意見・要望への対応>

・利用者からの苦情や意見については、丁寧に聞きとりした後に、一つ一つ丁寧に対応されている。また、その苦情案件に関する記録も残されており、適切に対応されているほか、満足度調査を実施し、課題把握に努めている。

		必要な人員(人数・有資格者等)が必要な場所に適切に配置されているか			
	適正な管理体制の構築	定期または随時の会議等によって所管課との連絡・連携が十分に図られているか	5	3	3
		再委託先との連携調整が適宜・適切に行われ、業務の履行についても適切な監視・確認が為されているか			
	担当者のスキルアップ	業務知識や安全管理、法令遵守に関する研修が定期的に行われ、スタッフのスキルとして浸透しているか	10	3	6
	安全・安心への取組	事件・事故、犯罪、災害から利用者を守ることができる適切な安全管理体制となっているか(人員配置、マニュアル、訓練等)	5	3	
		事故等が発生した場合における報告等の体制は適切か			3
		実際に事故等が発生した場合の対応は適切であったか。また、再発防止の取り組みがなされたか。			
組織	コンプライアンス	法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか		2	3
管理		個人情報の管理は適切に行われているか	3	ა	J

### (評価の理由)

#### <適正な管理体制の構築>

- ・基準で最低限求められる人員より多く配置しており、中重度者ケア体制加算等の加算算定にもつながっている。
- ・委託業者と密に連携し、業務終了後は報告書等により確認をしている。

#### <担当者のスキルアップ>

・内部研修、外部研修ともに年間で計画を立て、計画的に受講させることでスキルアップの体制を整備している。特に、内部研修については録画し、職員が個別で受けられるようにした。

### <安全・安心への取組>

・発生した事故については、記録に残すとともに、遅滞なく川崎市に報告を行っている。また、再発防止策についても1件ごとに具体的な対策を検討のうえ、以後適切に 対応されている。

### <コンプライアンス>

・法令順守のための各種規程が整備されており、それに基づく運営が適切に行われている。

	施設・設備の保守管理、 清掃、警備等	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか			
		業務日誌・点検記録・修繕履歴等が適切に整備・保管されているか。	10	3	6
		施設内及び外構の清掃が適切に行われ、清潔な美観と快適に利用できる環境を維持しているか			
		施設内及び敷地内の警備が適切に行われ、事件・事故・犯罪等の未然防止に役立っているか			
		外構の植栽を適切に管理(草刈、剪定、害虫駆除等)しているか			
		設備・備品の整備や整頓、利用者が使用する消耗品等の補充が適切に行われているか			
<u> </u>	(証価の押由)				

### (評価の理由)

施設・設備については、定期点検を実施し、施設の維持管理に努め、不具合が生じた箇所について、市と協議の上、適宜修繕を実施した。また、修繕時のみならず、 定期点検時も業者に対し報告書の提出を求め保管した。

専任の清掃員を雇用し、手すりやトイレなどは小まめに消毒を行い感染予防にも努めている。 夜間や日祭日の定期巡回を実施するため、警備職員を雇用し、ローテーション勤務により1日1名を配置した。

法人で購入した備品について台帳で管理したほか、トイレットペーパー等共用部の必需品については清掃員やその他職員で適宜補充を行うなど、備品・消耗品を適切に管理した。

## 4. 総合評価

· · 10 H H I IH			
評価点合計	70	評価ランク	В

# 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

・利用者のニーズを丁寧に聞き取ることや、アンケート調査等を行うことで的確に把握し、そのニーズを満たすための取組が実行されており、利用者ニーズに寄り添う運営姿勢 が評価できる。

・研修の録画等により職員が受講しやすい環境を整えることで職員のスキルアップ等が図られておりサービス向上に向けて尽力した様子が見られた。

・契約ではなく、措置による入所施設である「養護老人ホーム」の事業周知、利用者満足度向上等に注力し、より質の高いサービスを目指し運営されている。

### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、施設内での感染防止対策を実施し、感染防止に向けた取組や、利用者の事故防止に向けた取組を続け、利用者の安全確保に努められたい。また、満足度調査 における満足度の一層の向上や苦情件数の減少に向けて、施設一体となって課題解決に取り組んでいただきたい。